

第1 第6次福知山市行政改革 平成28年度進捗状況について

1 総括

本市は、新たな行政改革の指針となる「第6次福知山市行政改革大綱」を平成27年12月に策定し、平成28年度から平成32年度までの5年間を計画期間として、「次世代へつなぐ新たな改革」をテーマに掲げ、多様性あふれる高次機能都市を目指す「未来創造 福知山」基本計画と連動し、その実効性を行財政運営面から担保するべく取り組んでいる。

平成28年度の実績及び平成32年度までの見通しについて取りまとめたので、ここに報告する。

第6次行革大綱では、4つの基本方針を掲げており、その基本方針に従って市の全事業について改革を進めていくが、なかでも次の3つを中心的課題として取り組んでいく。

項目	目標値	28年度実績
削減効果額	5年間 3,297百万円 28年度 278百万円	3,729百万円(+432百万円) 399百万円(+121百万円)
公共施設マネジメントの推進	延床面積5万㎡削減	5,246㎡(累計9,235㎡)
職員の適正配置	一般職員数15人削減	4人削減

実施計画 削減効果(事業費ベース)

	当初目標値 ①	実績(見込み) ②	③(②-①)
■28年度単年度削減効果額	278百万円	⇒ 399百万円	= 121百万円【達成】
歳入	157百万円	⇒ 296百万円	= 139百万円【達成】
歳出	121百万円	⇒ 103百万円	= ▲18百万円【未達成】
■28～32年度効果額(合算)	3,297百万円	⇒ 3,729百万円	= 432百万円【達成】
歳入	1,477百万円	⇒ 2,126百万円	= 649百万円【達成】
歳出	1,820百万円	⇒ 1,603百万円	= ▲217百万円【未達成】

削減効果額については、市有地販売やふるさと納税により、歳入において当初計画を大幅に上回る削減効果が得られた。歳出においては、行政評価システムを活用した見直しにおいて効果が得られたが、一方で時間外勤務の縮減等において削減効果を得ることができなかった。

■将来削減額(28～32年度) 16,215百万円 ⇒ 15,804百万円 = ▲411百万円
道路法が改正されたことにより、28年度に橋りょう修繕が実施できなかったことによる。

■実施計画の計上項目 108項目(当初計画のまま)

■28年度の実施状況

「達成」10項目、「部分実施」81項目、「検討中」17項目

※削減効果額：経常的な削減(又は収入)額と土地売払収入等の一時的な削減(又は収入)額の累計額。

※将来削減額：公共施設マネジメント実施計画(短期5年)に規定する基本方針期間(長期30年)の間に削減される更新費と橋りょう等の各施設長寿命化計画に規定するライフサイクルコスト削減額の合算額。

今後の取り組みについて

平成28年度は、歳入において当初計画を大幅に上回る効果を得られたため、歳出をあわせた合計額でも当初計画を上回ることができた。しかしながら、歳出においては当初計画を達成できていないことから、行財政経営マネジメントシステムを運用していくとともに、社会情勢の変化に的確に対応し、さらなる改革の強化を進めていく。

また、この取り組みを市民への説明責任を果たしながら、市民とともに進めていく。

2 主な特色

1 取り組み状況

- 達成 10 項目（平成 28 年度で 5 年間の目標を達成しているもの）
 - ・コンプライアンスの徹底
 - ・三和町農業振興センターの有効活用
 - ・大江支所改修による未利用施設の活用
 - ・東部保健福祉センター（建物）の有効活用
 - ・中期財政見通しの策定・公表・活用
 - ・郵送事務の効率化
 - ・道路維持管理用公用車の更新事業
 - ・学校補助金制度の見直し
 - ・広報ふくちやま・ホームページ広告収入の確保
 - ・旧夜久野役場跡地の有効利用
- 部分実施 81 項目（削減効果のあらわれたもの、事業に着手したもの）
- 検討中 17 項目（関係機関等と調整、検討しているもの）
 - ・福知山公立大学との連携及び図書館郷土資料のデジタル化
 - ・市営林管理
 - ・文化振興施設の機能統合及び指定管理制度の導入
 - ・公立保育園の民営化推進
 - ・市営住宅建替における PFI 手法の検討
 - ・農村研修集会施設の地元移譲・用途廃止
 - ・合併特例期間終了後の財政健全化の推進（実質公債費比率）
 - ・合併特例期間終了後の財政健全化の推進（経常収支比率）
 - ・ごみ処理手数料の改正
 - ・ごみ処理方法の検討
 - ・橋りょうの維持管理事業
 - ・公園施設の長寿命化対策
 - ・庁舎管理業務の一括発注
 - ・市バス路線の再編による事業の効率化
 - ・無名橋りょうのネーミング事業
 - ・文化振興に係る実行委員会事業の見直し
 - ・人にいちばん近いまちづくり関係団体の統一

2 28 年度削減効果の増減が大きなもの () 数値は目標値との差額

【歳入】

当初目標値 157 百万円 ⇒ 実績 296 百万円 (+139 百万円)

- ・市有地販売の促進・・・151,464 千円 (+113,464 千円)
現在、市有地、公社継承土地を一括して販売しており、資産活用課の創意工夫による販売により、目標値を大きく上回る成果を達成できた。
- ・ふるさと納税の推進・・・43,698 千円 (+41,578 千円)
ふるさと納税の取組みを推進したことにより、目標値を上回った。
- ・市税収納率の向上・・・26,114 千円 (+15,114 千円)
実施計画による取組みを進めたことにより、収納率が前年度比 0.22% 向上し、97.70% となった。

【歳出】

当初目標値 121 百万円 ⇒ 実績 103 百万円 (▲18 百万円)

- ・行政評価システムを活用した事業の見直し・・・50,992 千円 (+32,992 千円)
平成 28 年度から 4 ヶ年をかけて全事業の見直しに取り組んでおり、行政評価システムを活用することで、今後に大きな成果を得られると見込まれる。
- ・「e-ふくちやま」事業の民営化・・・38,000 千円 (+8,000 千円)
民間事業者によるサービス提供に移行を進めており、28 年度は経常経費の削減ができた。
- ・定員の適正化・・・32,000 千円 (+8,000 千円)
当初 3 名の削減を計画していたが、採用抑制により 4 名の減となった。さらに今後においても、多様化する行政ニーズに対応できる組織体制を確保しつつ、事務の簡素化・効率化を図るとともに、常に職員定員の適正化に取り組んでいく。

- ・時間外勤務の縮減・・・・・・・・▲43,589千円(▲45,042千円)
時間外勤務の縮減に取り組んでいるが、新たな行政課題や行政需要の多様化・専門化等による業務増加等により未達となったが、今後、目標達成に向けて取組みを進めていく。

3 28年度から32年度で削減効果の増減が大きなもの () 数値は目標値との差額

【歳入】

当初目標値 1,477百万円 ⇒ 実績 2,126百万円(+649百万円)

- ・市有地販売の促進・・・・・・・・642,000千円(+452,000千円)
さらなる販売促進を図るため、売却可能な普通財産の調査により売却に向けた条件を整えるとともに、公共施設マネジメント計画の進捗により創出される土地の売却を進めていく。
- ・ふるさと納税の推進・・・・・・・・304,698千円(+258,127千円)
ふるさと納税の取組みを推進することにより、市外から本市への関心を高めるとともに歳入額を増やしていく。

【歳出】

当初目標値 1,820百万円 ⇒ 実績 1,603百万円(▲217百万円)

- ・行政評価システムを活用した事業の見直し・・・・・・・・434,820千円(+164,820千円)
行政評価システムを活用して、事業の効果を測り見直しを行うことで、事業費の節減を図る。
- ・旧町保育園の統合・・・・・・・・60,000千円(▲41,329千円)
- ・「e-ふくちやま」事業の民営化・・・・・・・・296,000千円(▲130,000千円)
民間事業者によるサービス提供に移行を進めているが、5箇年の削減効果額については、比較対象となる設定条件(27年度数値)が変更となったことにより、当初計画での目標値を下回る見込みである。
- ・公立保育園の民営化推進・・・・・・・・一千円(▲167,092千円)
公立保育園の民営化は、旧町の保育園統合とあわせ実施しているが、旧3町保育園の統合で地元合意に時間を要したこと等により、当初計画より遅れている。

4 将来削減額の増減について () 数値は目標値との差額

当初目標値 16,215百万円 ⇒ 見込値 15,804百万円(▲411百万円)

- ・橋りょうの維持管理・・・・・・・・1,350,495千円(▲397,980千円)
道路法改正に伴い、橋りょうの点検方法等が変更となったことにより、修繕計画を見直すこととなり、28年度では修繕を実施できなかった。事業効果を発現させるために出来るだけ早期に修繕を実施していく。